

# なかまつ寛ニユース

2014.1 月  
NO.11

二〇一四年 新年号

## キ



年頭のごあいさつ



ハイサイ、グスーヨー。

平成二十六年の新春を寿ぎ謹んでお祝い申し上げます。今年一年が皆様にとりまして健康に恵まれ幸多い年となりますよう念願いたします。昨年は、安倍政権が打ち出した経済政策「アベノミクス」により日銀金融緩和、株価の上昇、円安、東京五輪誘致等、わが国経済に明るい兆しが見えてきました。一方でTPP交渉への参加表明や消費税8%引き上げ等が、今後の景気にどのように影響するか不透明な中、わが国及び本県経済が本格的な「経済再生」の軌道に乗れるかどうかの正念場の年を迎えております。

七月の参院選で自民党が大勝し与党少数の「ねじれ国会」が解消されました。その後の政治の動きは、衆参で圧倒的な数を背景に「特定秘密保護法の成立」「韓国軍への実弾提供」「オスプレイ沖縄強行配備」等、これまで慎重であった事案が矢継ぎ早に進んでいく状況に一抹の不安を覚えざるを得ません。とりわけ普天間基地の移設問題については「普天間基地県外移設」を求める大多数の県民の声とは裏腹に辺野古移設を迫る手法に対して県民は怒りの声を上げているのが現状であります。

現政権が「おごる平家は久しからず」の故事にならぬよう気を引き締め、国民、県民目線で山積する課題に取り組んで頂くようお願いするものであります。

さて、昨年の那覇市は、一月より新しくなった庁舎での業務が始まり、四月に県から約二千五百の事務権限が移譲され「中核市」へ移行いたしました。また、市議会においては「議会基本条例制定」により、「議会報告会」「全員協議会」「議員研修」等、本格的な議会改革実行元年の年となりました。

このような中、私の議会活動は七月の市議選挙で二期目の当選を果させて頂き、これまで勤めてきた「教育福祉常任委員会委員長」「議会運営委員会委員」「那覇市・南風原町環境施設組合議会議員」「自民・無所属・改革の会政調会長」を離任、新に「自由民主党会派幹事長」「議会運営委員会委員長」「議会改革推進会議委員」「教育福祉常任委員会委員」に就任いたしました。

本年は、私のモットーとする子育て、教育、福祉政策に引き続き力を注ぎ、議会の要である議会運営委員会委員長として与野党の間に立って公平公正な議会運営と「馬耳東風」とならぬよう市民の声にしっかりと耳を傾けながら市民の要望を的確に把握する議会、更なる「議会改革」に努め、本市に山積するあらゆる課題解決に取り組む決意でありますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

イッペーラフェーデービル  
タンデイガータンデー

平成二十六年一月吉日

那覇市議会議員 **なかまつ 寛**